

(一社) 日本建築学会 近畿支部

2021 年度第 2 回空気環境部会 議事録

日時 : 2022 年 1 月 19 日 (水) 17:00~19:00
場所 : オンライン会議 (Zoom)
出席 : 東, 袁, 河野, 近藤, 崔, 竹村, 松尾, 三石, 山際, 山田, 山中
欠席 : 小林, 山澤

議題 :

議論に先立ち、最近近畿に戻られた山田委員からご挨拶があった。

1. 前回議事録確認／議事内容確認 (東主査 10分)

前回議事録、議事内容を確認した。(資料2-1)

特に議事録に異論はなかった。

2. 次年度の活動計画の確認 (東主査 10分)

メール審議にて議論があった次年度の活動計画について、あらためて確認した。

特に、シンポジウムの開催予定について議論を行い、シンポの詳細については今後の部会で決定する方針を確認した。

3. チュートリアル動画の紹介・経過報告等 (80分)

本年度の支部研究、および部会活動として取り組んでいる測定機器のチュートリアル動画の作成について、各委員から途中経過の報告があった。(当日はスライド等の説明資料を用いて報告があったが、委員への資料配布は無し。)

・測定器類 (三石委員)

風量計に関するチュートリアル動画の作成状況に関する報告があった。

・熱電対 (松尾委員)

熱電対を用いた黒球温度計の自作、測定値の補正、精度検証に関する報告があった。

自作黒球温度計の精度面、特に発表において市販の黒球温度計との測定値の差が見られたところについて、使用した補正式の妥当性、黒球の構造 (使用した素材の物性の影響、作成手順の影響など) に関する議論があった。議論のあった点については、チュートリアルに反映することを確認した。

・熱電対（河野委員）

熱電対の測定原理、種類と適用範囲、端子部を自作する際の注意点、測定時の注意点、特に屋外での測定について、放射の影響を抑制するための工夫などについて報告があった。

端子部の作成方法（ハンダ付けの意義）、測定時の工夫（放射よけの方法、壁面温度測定時の貼り付け方法、貼り付け長さ）などについて、議論があった、議論のあった点については、必要に応じてチュートリアルに反映することを確認した。

・CO2おんどとり（山中委員）

CO2おんどとりについて、取り上げる機器の詳細、チュートリアルの構成について報告があった。

また、CO2おんどとり仕様時の注意点、データ収集の方法（無線通信、クラウドへのアップロード）、測定値の補正方法などについて説明があった。

4. 知的生産性研究動向の紹介（室内環境学会大会）（東主査：15分）

室内環境学会大会に参加された東主査から、発表された内容のうち特に快適性・知的生産性に関する発表について、内容の紹介があった（資料2-2）。室内環境と知的生産性の関係に言及している研究が多数見られたが、一方で、知的生産性そのものを測定している研究は少なく、快適性などの主観評価を行っているものが多い傾向との分析があった。

5. 予算執行の確認（松尾委員：5分）

部会費、支部研究費の執行状況と、今後の執行予定の確認が行われた。特に支部研究関連での予算使用が見込まれるため、使用予定額の取りまとめを行うことが確認された。

6. その他

次回部会は3月中旬、オンラインでの開催を予定する。